

国語
六一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① え戸しぐさを身に付けた人を尊敬する。

② 自己中心的な考えを改める。

③ 多くの星座を見つけて感激する。

④ 宇宙にはたくさんの方がいる。

⑤ 胸筋をきたえる。

国語
六一二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 祖父は葉巻を吸う。
- ② 映画の割引券を手に入れる。
- ③ 終りよう時刻が延びて困る。
- ④ 皇后陛下のお言葉に胸を打たれる。
- ⑤ 胸さわぎがする。

国語
六一三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 郷里が世界遺産に選ばれる。

② 絹の布を裁つ。

③ 勤務先の沿革を調べる。

④ 下巻の教科書を机上きじょうに置く。

⑤ 砂場で穴をほる。

国語
六―四
(読み)

第六学年の漢字（読み）

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 革くわぐつを干かす。

② 机こに座まってはいけない。

③ 劇げき場の警備けいびをすする。

④ 恩師おんしを敬うやまう。

⑤ 山沿やまぞいの地ち域いきに激げきしい雨あめが降ふる。

国語
六一五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 異国いこくの旅は、貴重きゆうな経験けいけんである。

② 簡単かんぱんな問題もんだいを解とく。

③ 深呼ふか吸すをする。

④ 延長えんじやう戦せんに入いる。

⑤ 鉄骨てつこつの建物けんぶつ。

国語
六一六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 巻き寿司ずしはおいしい。

② 内閣総理大臣が決まった。

③ 砂金を見つけた。

④ 郷に入っては郷に従えと言われる。

⑤ 物事の系統性について考える。

⑥ 委員に選ばれて困わくする。

国語
六一七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 親孝行おやうやうをする。
- ② 憲法けんぽうについて、一冊の本ひととみを読む。
- ③ パソコンの電源でんげんを入れる。
- ④ 紅葉こうようが美しい季節きせうになる。
- ⑤ 口紅くちびるを使う。
- ⑥ 提出期限ていしゅくきげんを厳守げんしゅする。

国語
六—八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 異なる株をこう入する。
- ② 試合で首筋をいためる。
- ③ 湖面に山が映る。
- ④ 干しようしすぎると危ない。
- ⑤ 厳しい現実をつきつけられる。

国語
六一九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 誤字脱字だっじがないようにする。

② 言葉の使い方を誤る。

③ あまりの楽しさに我を忘れる。

④ 疑問を解決する。

⑤ 友達を疑うことをやめる。

⑥ 簡単に朝食を済ます。

国語
六一十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 夕日に映える山の景色。

② 国会の会期を延ばす。

③ 腹筋が割れる。

④ 手をすべらせて皿を割る。

⑤ 権力を行使する。

国語
六一十一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじよ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 灰色そらもようの空模様になり降水かくりつ確率が増す。

② 危険を察知する。

③ すくいの手を差しのべる。

④ 水を供給するシステム。

⑤ 仏だんに花を供える。

⑥ 子供たちの未来を考える。

国語
六一十二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 鉄鋼所に勤めるための策を考える。

② 大声で友達を呼ぶ。

③ 魚の骨がのどにつまる。

④ わたしの元気の源は朝ごはんです。

⑤ 法皇の話聞く。

国語
六一十三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

- ① バスから乗客が降りる。
- ② トラックから荷物を降ろす。
- ③ あの日の出来事を心に刻む。
- ④ 困っている人々を救済する。
- ⑤ おいしい食事が済む。

国語
六一十四
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 温泉おんせんを訪まれる。

② 校庭こうていの夏なつみかんはすすっかり熟じやくした。

③ 諸行しよかう無常むじやうのひびきあり。

④ 衆議院しゆぎいんで可決かけつされた。

⑤ 陸上競技大会りくじやうきんぎたいかいに向けて、タイムを縮ちぢめてい
きたい。

国語
六一十五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 善は急げ。

② 今年は豊作で、収かくが楽しみだ。

③ 希望した会社に就職が決まった。

④ 健康を保つためには、姿勢を正しくすること
とも大切だ。

⑤ 町田市は、かつて養蚕業が盛んでした。

国語
六一十六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 窓まどから下したをのぞくと、友達ともだちが体操たいそうしていた。
- ② この凶形きょうがたが垂直すいじくであることを説明せつめいする。
- ③ 立派りっぱなとう磁器じきをもらい受けた。
- ④ 傷口きずぐちを応急処置おうきょしょした。
- ⑤ 一寸先いちすんさきは闇やみ。

国語
六一十七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましょう。

① 私の町の図書館は蔵書数が多い。

② 今日は忘れずに宿題をやることを宣言した。

③ 相手に誠意を見せる。

④ 壁かべに耳みみあり障子しょうしに目めあり。

⑤ 学芸会の衣装がうしやうを洗せんたくした。

国語
六一十八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

① 家賃かぜんを納なめた。

② 討議たうぎの結果けつ、みんなが納得なとくした。

③ 天皇陛下てんかうへいかがご覧らんになった絵。

④ 同盟国どうめいこくを訪問ほうもんする。

⑤ 蚕さなぎのまゆまゆを染色しんしきした。

国語
六一十九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① え戸城を築城したのは太田道灌だ。
おおた どうかん

② かれは独創的な演奏をする。

③ 長い階段は負担に感じる。

④ かの女は朗らかな性格である。

⑤ あの俳優は演技がうまいことで世間から

認められている。

国語
六一二十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

- ① 納豆には卵黄を入れるのが好みだ。
- ② 世界には多くの宗教がある。
- ③ 昨晚のことは秘密にして欲しい。
- ④ 党首による演説会が行われた。
- ⑤ 東京都の庁舎の場所を確認した。

国語
六一二二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みを

の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 難しい問いに顔を背けた。
- ② その問題は改善の余地がある。
- ③ 地層がどのようにできたのか、興味がある。
- ④ 誕生日に花が届くように手配した。
- ⑤ 俳句の雑誌に名前がのった。

国語
六一二二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじよ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 人間の脳は右脳と左脳に分かれている。
- ② 幼い子供たちを前に朗読を行う。
- ③ 法律の試験に臨んだ。
- ④ 片方の言い分だけでは分からない。
- ⑤ コーヒーに牛乳と砂糖を入れて飲むのが好きだ。

国語 六一二三 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
 の右側みぎがわに

書きかましよう。

- ① 助けてくれた恩人の背中を思わず拝んだ。
- ② 山頂から見下ろすと、すぎ並木が連なっていた。
- ③ 班長に推せんした。
- ④ 毎朝、自宅に牛乳が届けられる。
- ⑤ 郵便局の裏側に私の家がある。

国語 六一二四 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

の漢字の読みを
の右側に

書きましよう。

① え戸幕府の初代將軍は徳川家康だ。

② 立候補者による公開討論会が行われた。

③ 多くの署名を集めるため、奮起しなければ
ならない。

④ その山のふもとには樹海が広がっていた。

⑤ かれのばん奏は心に染みる。

国語
六一二五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 捨てる神あれば拾う神あり。

② 寒暖の差がはげしい時期である。

③ 尺八は太く重厚な音色と言われている。

④ 私は班長を尊敬している。

⑤ かれの夢は宇宙飛行士になることだ。

国語
六一二六
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 朝晩、二人は並んで走っていた。

② 優しいかの女はみんなから好かれている。

③ ひざが痛くて、頂上まで登れそうもない。

④ 先生からいただいた一枚のハガキは私の

宝物となった。

⑤ 飛行機の模型が欲しい。

国語
六一二七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 批判は承知の上で自分の意見を述べた。
- ② 今でも注射の針を見るのが苦手だ。
- ③ かれは容疑を否認している。
- ④ となりには若い夫婦が暮らしている。
- ⑤ 昔、主君と家来は主従関係を結んでいた。

国語
六一二八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 縦と横の長さを測って、面積を求める。

② その作者は多くの名作を著した。

③ かれの個展に多くの人が訪れた。

④ 質屋の蔵には多くの作品が保存されていた。

⑤ 肺えんで亡くなる人も少くない。

国語
六一二九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に

書きましよう。

① 城の石段をそうじする。

② かん臓は沈黙の臓器と言われている。

③ 部屋の中は至る所ほこりだらけだった。

④ いつもはおだやかなかれが少し取り乱していた。

⑤ 雨は翌日まで続いた。

国語
六一三十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① かれは人形を自由自在に操ることができ
る。

② 片方の窓は閉められていた。

③ 水蒸気は無色の気体である。

④ 値段が安いものを探す。

⑤ 君の立派な行いは尊敬に値する。

かんじよ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① いつのまにか、かれは姿を消していた。

② 熟れたももは傷むのも早い。

③ 今日は暖かいと言うより蒸し暑い一日になりそうだ。

④ いつか飛行機を操縦してみたい。

⑤ しん縮性の高い生地で作られた服は

着心地がよい。

国語
六一三二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 優れた成績で勝利を収めた。
- ② 長所と短所は表裏一体だ。
- ③ 源氏物語の現代語訳を読むことにした。
- ④ 回覧板を届けるため、となりの家を訪ねた。
- ⑤ ラーメンの大盛りを食べて満腹になった。

国語
六一三三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

① 君が味方になつてくれるなら鬼おにに金棒だ。

② 小さなことに腹を立ててはならない。

③ かれは職務に忠実だ。

④ うず潮が一番大きく見えるのは満潮の時
だ。

⑤ 作詞家になるために専門学校に通った。

国語
六一三四
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ
の漢字の読みを

みぎがわ
の右側に

か
書きましよう。

- ① 若年層の視力低下が問題になっている。
- ② 教会で聖書を読む会に参加した。
- ③ いつまでも純すいな気持ちを忘れないでいて欲しい。

④ 医は仁術という格言がある。

⑤ 未来を担う若者たちに必要な力は情報を取捨選たくする力だ。